

気配

存在

と

入江早耶
小林 棕
中島伽耶子

7/27.sat-9/23.mon

気配と存在

入場料無料

2019年 7月27日(土)～9月23日(月)祝

火曜日休館

月・水～金 11:00～19:00

土日祝 10:00～18:00

会場 **あまらぶ アートラボ A-Lab**

主催 尼崎市

協力 Baycom

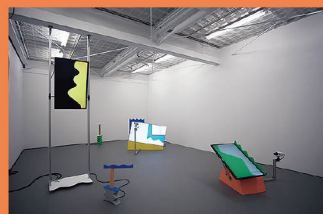
尼崎市立地域研究史料館
尼崎市教育委員会

助成 文化庁

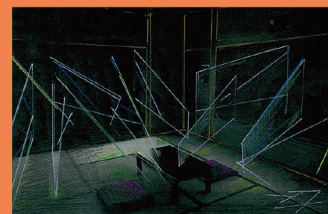
令和元年度文化芸術創造拠点形成事業



◀入江早耶《カンノダスト》(2015)



小林 椋 《ローのためのパス》(2018)



中島伽耶子 本展作品のイメージ

「気配」。見えるものでも、触れるものでもなく、何となく感じるもの。はじめて訪れた街で感じる印象は、場所が持っている記憶や受け継がれてきた伝統、また人々の活動が醸し出す「気配」かもしれません。本展では、入江早耶、小林椋、中島伽耶子の3人の作家がそれぞれの表現方法で「向こう側」に見えないなにかを感じさせる「気配」を持った作品を展開します。

入江は写真や絵画、印刷で記されたものを、消しゴムで消し取り、その消しカスで記されたものを立体的に表現する作品を制作してきました。平面にあった「記憶」を丁寧に練り上げ、存在感を浮かび上がらせません。小林はカラフルなオブジェ、カメラ、モニターなどを複雑に配置し、映すもの、映るものなどが絡まりながら可動する装置を展開。シンプルで機械的な動きは、繋がることでまるで生き物のように意思を持っている「生命」を感じます。中島は、日々刻々と変化していく太陽の光を取り込み、偶然性によって変わる様子に時の流れを感じる場を創り出します。内側と外側、日常と非日常、明と暗など重層的な状況を提示し、場の持つ記憶まであぶり出すような「空間」を構築します。

「気配」は観る側の意識や経験や感覚などの違いで、その感じ方も様々です。ぜひ、「気配」とその先にある何かの存在を感じてください。

入江早耶

Irie Saya

1983年 岡山県生まれ。2009年広島市立大学大学院博士前期課程を修了。掛軸や写真など二次元のものを消しゴムで三次元の世界へ導く作品を制作する。本展では、今はもうなくなってしまった尼崎の景色をA-Labに召喚する予定。【受賞】「第7回岡山県新進美術家育成I氏賞」奨励賞、「第6回資生堂アートエッグ」Shiseido Art Egg賞、「AMUSE ARTJAM in Kyoto 2009」森本千絵賞【展覧会】2019「美術館の七燈」広島市現代美術館(広島)、「瀬戸内国際芸術祭」小豆島(香川)、2018「駿河の国の芸術祭 富士の山ビエンナーレ」大佛寺(静岡)、2015「ERASE ME」Galerie von der Milwe(ドイツ/アーヘン)、2014「六甲ミーツ・アート」(兵庫)ほか

小林 椋

Kobayashi Muku

1992年、東京都生まれ。2019年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。キネティックな動きで音を発する装置やカメラ、ディスプレイなどを組み合わせたインスタレーションを。時里充とのユニット「正直」でも活動。【受賞】2015「ゲンビどこでも企画公募」オリエンタルホテル広島賞【展覧会】2019「アートアワードトーキョー丸の内」新丸の内ビルディング(東京)、「ARTISTS' FAIR KYOTO」京都新聞ビル印刷工場跡(京都)、2017「エマージェンシーズ! 032『盛るとのるソー』」NTTインターコミュニケーションセンター(東京)、「恋せよ乙女パープルーム大学と梅津庸一の構想画」ワタリウム美術館(東京)ほか

中島伽耶子

Nakashima Kayako

1990年 京都府生まれ。2015年東京藝術大学修士課程卒業。現在同大学美術研究科先端芸術表現博士課程在籍。場所との関わりを出発点に、時間や記憶をテーマに作品を制作。【受賞】2016「ゲンビどこでも企画公募」沢山達賞【展覧会】2019「Fault line art festival 断層藝術節」(台湾)、2018「行為の編集」トーキョーアーツアンドスペース(東京)、「Sculpture by the sea 2018」(オーストラリア/パース)、2017「六甲ミーツ・アート」(兵庫)、「高見島一京都: 日常の果て」Gallery FLEUR(京都)2016「瀬戸内国際芸術祭」高見島(香川)、2015「越後妻有アートトリエンナーレ大地の芸術祭」枯木又集落(新潟)ほか

会期中の関連イベント

8/17(土) ライブ・パフォーマンス
「真夏の夜の音楽会」

午後6時から。出演は今年のアルス・エレクトロニカの Digital Musics & Sound Art 部門で Honorary Mention を受賞した小林椋さんと時里充さんのユニット「正直」、楽器、電気、コンピュータなどを扱い演奏する音楽家・米子匡司さん、VJ で活躍する井上理緒奈さんほか。定員先着30人。入場料無料。申込者優先。申し込みは電話かメールで A-Lab へ。

※メールで申込の場合、イベント名、住所、氏名、年齢、電話番号、人数を記載してください

9/7(土) アーティスト・トーク

午後3時から、アート・メディエーターのはがみちこさんをゲストに迎え、出展アーティスト3人とのトークを。定員先着30人。当日直接会場へ。

9/8(日) ワークショップ
「消しゴムカスで立体づくり」

午後1時から、入江早耶さんを講師に、消しゴムカスから立体作品を作ります。定員先着10人。申し込みは電話かメールで A-Lab へ。

あまらぶ アートラボ

A-Lab

問い合わせ先

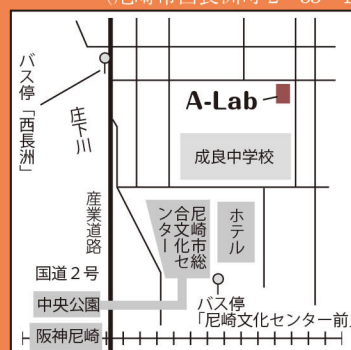
A-Lab ☎/FAX 06-7163-7108

mail: amalove.a.lab@gmail.com

尼崎市役所文化振興担当

☎06-6489-6385

(尼崎市西長洲町2-33-1)



会場には一般用駐車場はありません